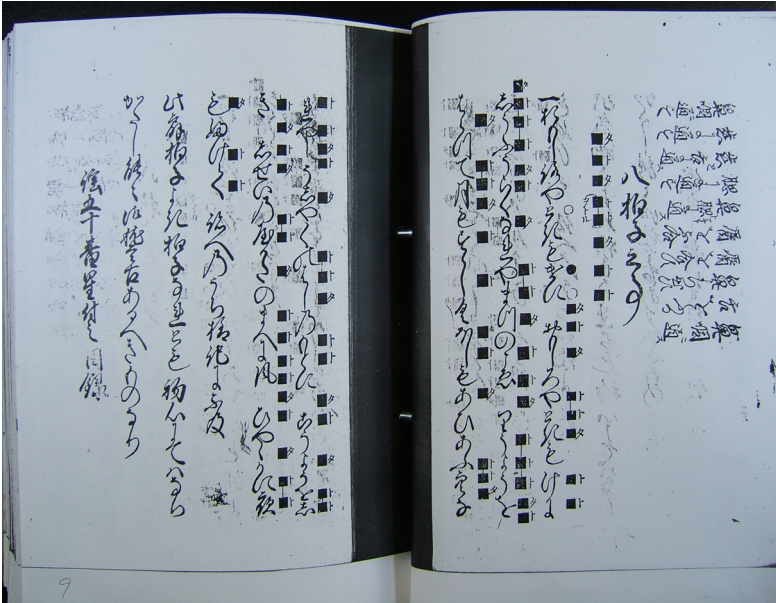


愛水子 『囃謡鼓覚集』

「八拍子」を「タトタトトタトト」という口拍子でしめしている。中間の「トト」には「ヲトル」と記されている。また「此の扇拍子よき拍子なれとも初心にてハなにかたし能々御稽古あるへきものなり」と記される（写真上段）。下段の写真には、「羽衣」の題の下に「指、鼓にかまふ事なく、不乗但曲舞謡出し一拍子也」という注記が見える。



標題 内題：囃謡鼓覚集（巻二）

標題紙：—

奥附：—

その他：囃謡鼓覚集（序・目録・題簽・
巻末）

著者 奥附：—

その他の場所：愛水子（巻一序・巻第二・

三・四・五巻頭、巻第五跋）

出版 版次：—

出版社：京都

出版社：山形屋七兵衛

出版年：寛文7（1667）

その他の場所：—

形態 冊数：五冊 頁数：—

寸法：—

状態 写本版本の別：版本 現物複写の別：複写

備考 京都大学図書館所蔵の本を複写し、一冊にファイルしたもの。